

さまざまな用具の世界

これまで、文房四宝（筆・墨・硯・紙）について、その種類や製造工程をご紹介してきました。
今回は、さまざまな書写の用具を扱っている鳩居堂（東京都中央区）にお邪魔し、文房四宝以外の用具について、店長の庄司治好さんに伺いました。

1 用具の名前と置き方

——わあ、見たことのない用具がたくさんあるなあ。

うちのお店では、中学校の書写の授業では使わないような用具もいろいろ扱っていますので、中学生の皆さんには、初めて見るものが多いかもしれませんね。

——これらの用具の名前を教えてください。

筆を置く台を「筆架」（※1）と言います。書いている途中に、墨がついた筆を置いておくことができますので、とても便利です。使った墨を置いておく台は「墨床」

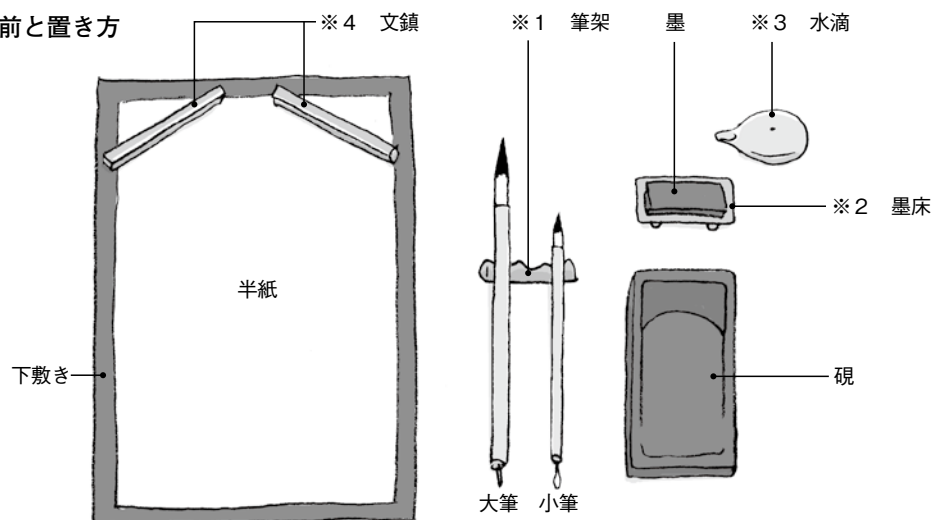
イラスト：北村ケンジ

私たちの知らない、書写の用具がたくさんありました。

350年以上の歴史をもつ老舗・鳩居堂さんにお邪魔したよ。



■用具の名前と置き方



▲丁寧に用具の説明をする店長の庄司さん。

2 さまざまな文鎮

——学校で使う文鎮は、金属製の細長いものが多いですが、お店にはいろいろな形のものがありますね。

動物の形のものや、ガラスで作られたものなど、見ているだけでも楽しいですよ。年末年始には、干支がモチーフになった文鎮も人気があり、お土産に買ってもらえる方も多くいらっしゃいます。

文鎮は、種類によっても重さがさまざまなので、買うときには、実際に手に取っ



▲【文鎮】紙や書物を押さえる重し。動物をかたどったものも多い。

（※2）と言います。そして、硯に水を注ぎ入れるのが「水滴」（※3）。それから、これは皆さんも書写の授業で使っていると思いますが、紙を押さえる「文鎮」（※4）です。



▲文鎮、水滴など美しい書道用具がずらりと並ぶ。

■その他の用具



▲【硯屏】昔は硯の前に立てて、風や埃をよけるものとして使用していたが、現在は鑑賞用として使われている。



▲【筆掛】筆を吊るして保管するためのもの。筆を洗って穂先を下にして干すと、水分が筆の根元にたまらず、腐食も防げる。



▲【筆筒】筆を入れておく筒。倒れないよう、ある程度の重さがあるほうが使いやすい。

私どものような専門店には、安価なものもありますが、高級な用具もあります。中学生のみなさんのお小遣いだ、それらをすべてそろえるのは難しいかもしれません。でも実は、みなさんの身近には、書写の用具として代用できるものがたくさんあるんですよ。例えば、私は旅先な

書写の用具には、そのような選ぶ楽しさがありませんね。
用具を選んで、書く環境を自分好みにしていくと、書がますます楽しくなるんですよ。私は、書く時間も大事ですが、書く前の準備の時間も、とても大事だと思っています。自分が「いいな」と思った用具を半紙の周りに置いて、それらを眺めながら墨を磨る時間というのは、贅沢でいいものです。心が落ち着き、よい字が書ける気がします。

6 環境をつくる楽しさ

で、書きたい文字によって、水滴を選んで使っています。迫力のある字を書きたいときは、色が鮮やかな水滴を、渋い字を書きたいときは、落ち着いた色合いの水滴を……というように使い分けて、気分を盛り上げています（笑）。

東京鳩居堂 銀座本店



1663（寛文3）年、京都寺町の本能寺門前に薬種商として創業。その後、薬種原料の輸入先である中国より、書画用文具を輸入して販売を開始。書画用品のほか、香と和紙製品も取り扱う。現在、銀座本店のほか、5支店を構える。

東京都中央区銀座5-7-4

T E L : 03-3571-4429 F A X : 03-3574-0075

営業時間：10:00～19:00（平日・土曜）

11:00～19:00（日曜・祝日）

W E B : <http://www.kyukudo.co.jp>

筆を置く筆架も、いろいろな形のものがあるんですね。
山のような形をしたものや、魚をかたどったものなどさまざまですが、筆を置きやすい「波型」をしたものが多いですね。素材は陶器や木、高級なものだと「玉」を使ったものもあります。書いている途中で、墨を含んだ筆を置きたいとき、筆架があるとたいへん便利です。

3 あると便利な筆架



▲【筆架】筆を置く台。「筆置き」とも呼ばれる。波型で横幅5～15cm程度のものが多い。

墨床は、墨を磨って、さらに水を足すときなどに、いったん墨を置く台として使います。あってもなくてもよさそうなものと思いますが（笑）、実は意外と便利な用具です。墨床がない場合、墨を硯に立てかけたりしますけれど、そうすると墨が倒れて机が汚れることが多々あります。安定感のある墨床があると安心ですね。

4 意外と役立つ墨床



▲【墨床】墨を置く台。「墨置き」とも呼ばれる。墨の大きさに合わせて選ぶとよい。

水滴は、硯に水を注ぐときに使うものです。大きな字を書きたいときは、墨をたくさん磨らなければならないので、大きめの水滴を使い、仮名を書くときは、少しの水でよいので、小さなかわいらしい水滴を使うとよいでしょう。
水滴は、形や色にさまざまなバリエーションがあるので、収集している人が多いようです。実は、私も集めておりまし

5 収集したくなる水滴



▲【水滴】硯に水を注ぐための器。「水差し」とも呼ばれる。匙で水ですくって入れるタイプもある。